

# 「第9回 浜松市調べ学習コンクール」審査結果について

中央図書館

## 1 開催趣旨

図書館の本やインターネット等様々な情報を使って、日常生活や学習上の疑問点を考え、解決を導く「調べ学習」の研究レポートを募集し、その努力や工夫を評価することで、調べ学習の振興を促す。これにより、小学生の「自ら考え、課題を解決する力」や「生きる力」を養うとともに、図書館利用の促進を図る。

2 主 催 浜松市、浜松市教育委員会

3 後 援 公益社団法人浜松青年会議所、公益財団法人図書館振興財団

4 対 象 浜松市内の小学3～6年生

5 審 査 員 浜松市内小学校教員及び主催、後援団体から選出した13人  
(うち一人は審査委員長)

## 6 応募数

(1) 応募学校数 85校

(2) 応募点数 2,270点

学 年	応募人数
3年生	440人
4年生	544人
5年生	616人
6年生	670人

## 7 表 彰

市長賞、教育長賞、中央図書館長賞 各1人

優秀賞 各学年2人 計 8人

優良賞 各学年3人 計12人

奨励賞 各学年5人 計20人

学校賞 5校

## 8 表彰式

(1) 日 時 平成29年11月11日(土) 午前10時～11時

(2) 会 場 浜松市立城北図書館 講座室

## 9 作品傾向

- ・郷土関係(富士山、お茶、方言、徳川家康、井伊直虎、浜名湖の魚、音楽、楽器)
- ・生き物(犬、ネコ、ペンギン、イルカ、鳥類、カメ、絶滅危惧種)
- ・からだや病気(出産、アレルギー、薬、骨)
- ・食品(だし、きのこ、香辛料、穀物、発酵食品、乳製品)
- ・自然、災害、防災(深海、月、惑星、雲、台風、地震)
- ・社会福祉(点字、手話、ユニバーサルデザイン、記号とマーク)
- ・スポーツ(サッカー)
- ・近年の話題(ヒアリ、パンダ、将棋)

## 10 全国コンクールへの出品

市長賞、教育長賞、中央図書館長賞、優秀賞、優良賞を含む計23点は、全国コンクールの三次審査に出品。

## 上位三賞受賞作品のあらましと評価について

### 市長賞

#### 作品名「万葉集なぞがいっぱいおもしろい知れば知るほどもっと知りたい」

浜松市立和地小学校5年 吉田 小華

(作品あらまし)

元から百人一首が大好きだったが、万葉集に同じような歌があるのに気付いたこと、浜北にゆかりがある歌があることで万葉集を身近に感じたのが調べ学習のきっかけ。万葉集、一般的な和歌の成り立ちや、当時の暮らしについて調べた後、広島で出会った万葉がなについて調査。浜北ゆかりの歌については歌碑を巡った。なぜ万葉集と百人一首に同じような歌があるのかを解決し、さらに深く調査した結果をもとに、当時に思いを馳せて和歌が生まれた背景について考察した。

(評価)

「こども万葉まつり」での衣装体験を通して、万葉の時代に興味をもつところが小学生らしくて良い。自分が好きな万葉集について、資料を用いて意味を詳しく調べることができている。また、奈良時代の衣・食・住と歌との関係性についても着目し、加えて、地元浜松だけでなく、広島まで足を運んで実地調査をしており、とてもバランスの良い作品である。

### 教育長賞

#### 作品名「溝」

浜松市立広沢小学校5年 武藤 礼奈

(作品のあらまし)

昨年頃から興味をもっている「溝」についての継続研究。昔の溝の目的や造りについて調べるために、九州等の各地へ足を運んで実地調査を行い、その後、現在の下水道について調査をすすめていった。昔の人がどのように水を大切にしていたかを知り同様の方法を家庭で実施。集落の防衛、神事の場所と生活空間との区別などとしての溝の役割を知ることから始まり、今日的生活排水にまで調べをすすめた作品。

(評価)

昔の溝の目的や造りについて、実地調査を行い、現地で実際に見て、疑問に思ったことを、施設の資料で調べたり、職員に聞いたりすることができている。そこから現在の下水処理のしくみに興味をもって調査をし、我が家のエコ活動につなげた。過去・現在・未来に目を向けた、優れた作品となっている。

### 中央図書館長賞

#### 作品名「だしの魅力をさぐる～和食は日本を救う～」

浜松市立伊佐見小学校6年 渡邊 優音

(作品のあらまし)

祖母の家の味噌汁が、普段母が作ったものと違うことに気付き、だしの違いによることを知ったのが、調べる動機。「和食の四大だし」についてそれぞれ調べた後、うま味やだしの地域性について調査した。その後和食に注目し、その良さをまとめる。かつおぶしを削り、だしを取る調理器具を色々と試すなどして、だしを手軽に、かつ、おいしくとるための工夫も考案。だしから和食や日本人を見つめ直した。

(評価)

だしの魅力について大変よく調べてある。日本の誇れる「和食」のだしについて、種類や歴史等が大変分かりやすくまとめられている。また、実際にだしを取る活動も行い、学習への意欲が感じられる。京都のだし屋を訪ねたり、焼津さかなセンターへ行ったり、実地調査もしっかり行っている。